

2025 年 12 月 21 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 36 号 (通算 3473 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さくされている人^{ひと}を
^{たいせつ}大切にする教会^{きょうかい}



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書 3:16)

クリスマス (降誕日) 礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたで
もご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

前奏 (黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 イザヤ書 9 章 1, 5 節

賛美歌 21-242 番「主を待ち望むアドヴェント」(©JASRAC)

クランツ点灯のことば

クリスマスの交棒と賛美 21-267 番「ああベツレヘムよ」(©著作権消滅)

賛美歌『新生讃美歌』180 番「イエスがここに」(©日本バプテスト連盟)

聖書 創世記 1 章 1-5 節

ヨハネによる福音書 1 章 1-5, 9, 14, 18 節

メッセージ 「クリスマス・プレゼントは誰に」 牛田 匡 牧師

賛美歌『みんなのさんびか 1』「だから今日 希望がある」(©JASRAC)

聖餐 牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524 番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物 (*)

派遣 21-91 番「神の恵みゆたかに受け」(1 節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6 番) (©教団讃美歌委員会)

報告 (8 頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 イザヤ書 9章 1,5節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

^{やみ}闇の中を歩んでいた民は大いなる光を見た。

死の^{かげ}陰の地に住んでいた者たちの上に光が輝いた。

⁵一人のみどりごが私たちのために生まれた。

一人の男の子が私たちに与えられた。／主権がその肩にあり、その名は
「驚くべき^a指導者、力ある神／永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

（脚注 a：別訳「助言者」）

クランツ点灯のことば

神様、イエス様のお誕生^{たんじょう}をお祝いするクリスマスの時^{とき}をありがとうございます。
イエス様は暗闇^{やみ}の中に灯^{あかり}った光^{ひかり}です。イエス様がなされたように、^{わたし}私^{わたし}たちも
この光^{ひかり}を分^わかち合^あい、灯^{とも}し合^あう歩^{あゆ}みができますように。イエス様がこの世^{よこ}に來^こら
れたことを、^{わたし}私^{わたし}たちが心^{こころ}から感謝^{かんしゃ}してお祝い^{いわ}することができますように。

リタジー
交^{リタジー}待^{リタジー}と賛美歌「クリスマスのリタジー」

司式者

今も、この世界では戦争が続けられていて、多くの人々が心と身体に痛みを抱え
ながら、このクリスマスの時を迎えています。身体的な苦しみ、精神的な苦しみ、
経済的・社会的な苦しみなど、様々な苦しみや痛みを抱えておられる方々がいます。
それらすべての方々のために祈ります。

暗闇の中を歩いた人たちは、偉大なる光を見ました。深い影の地に生きる人たちの
上に、光が照^くらされました。彼らをつないでいた^{くびき}軛^{くびき}と、その人たちに課せられて
いた重荷を、神様は打ち砕かれました。

みんな

憐れみ深い神様。私たちはそれぞれに苦しい思いと記憶を抱えつつ、今を生きて
います。そんな私たちと仲間たちのために、このクリスマスに私たちの祈りをお聞
きください。今日を生きるための力と、明日を迎えるための勇気、そして過去を覚
えるための平安を、どうぞお与えください。喜びと悲しみ、死と命、そして絶望と
希望、確かなる約束を、私たちと共に分かち合ってください。イエス・キリストと
共にあって祈ります。アーメン。

賛美歌『讚美歌 21』267 番（1 節）「ああベツレヘムよ」

司式者

ここに5本のろうそくが^{とも}灯されたアドベント・クランツがあります。イエス・キリストの降誕を待ち望みつつ灯したこのろうそくの一つ一つには意味があります。一つ目のろうそくは、先に天に召された私たちの大切な人たちを覚えるためです。しばらく静かに、彼らの名前、声、そしてこの季節に私たちと彼らを結びつける思い出を思い出しましょう。そして、私たちの内にある彼らの命を感謝しつつ、神様の前に彼らを心に抱きましょう。(しばらく黙祷)

みんな

命の^{みなもと}源である神様、私たちはそれぞれに大切な人たちを、この一年もあなたの^{みもと}御許に送りました。そして、その人たちがあなたの御許で安らいでいることを信じています。そして彼らがあなたからの「贈り物」として、私たちに与えられたことも感謝いたします。私たちは信じています。皆があなたからの「永遠の命」を生き、彼らとも一緒に生きているのだということを。この真理が今も、そしてこれからも、私たち皆の支えとなりますように。いつも共にいてくださるあなたが、私たちの^{ふるさと}真の故郷を、何度でも思い起こさせてください。また周囲の人々のうちに、出来事のうちに、また自然の美しさのうちに、あなたからの喜びを見出させてくださいますように。すべての悲しみをご存知である神様、悲しみと痛み^{うめ}に呻くこの心を、どうか慰めてくださいますように。アーメン

賛美歌『讃美歌21』267番（2節）「マリアを母とし」

司式者

二つ目のろうそくは、喪失の痛みに対するともし火です。自分や家族の健康の喪失、家族や友人との関係性の喪失、仕事とお金の喪失、ストレスによってもたらされた日々の生活からの喜びの喪失……。これら様々な痛みを集めて、神様に差し出します。神様、私たちに、心からの平安を与えてください。

みんな

神様、私たちは、あなたに信頼したいと願っています。しかし、すぐに心の中が恐れと不安でいっぱいになってしまいます。私たちが経験することすべてにおいて、あなたがいつも共にいてくださることを覚えさせてください。生かされている

命の不思議を感謝し、あなたの守りと導きの約束をハッキリと心に刻んでくださいますように。アーメン

賛美歌『讚美歌 21』267 番（3 節）「人はみな眠り」

司式者

三つ目のろうそくは、人生における方向性や指針を失っている人たちのためです。出エジプトを導かれた神様は、古代イスラエルの民を、^{あれの}荒野を通して、新しい地へと導かれました。今、私たちはこれから進むべき方向性を切実に求めています。今、自分がどこにいて、これからどこに向かうべきなのかをお示してください。神様、あなたは力強くおっしゃいます。「恐れてはならない。私があなただの前に行く」と。

みんな

私たちの深みにおられる神様。どうか私たちを導き、私たちが正しい道の上にいることを教えてください。私たちの命を、あなたの^{みこころ}御心に沿ってお用いますように。私たちが失ったものをすべて、あなたの^{みもと}御許に置いてください。アーメン

賛美歌『讚美歌 21』267 番（4 節）「ああベツレヘムの」

司式者

四つ目のろうそくは、希望のしるしです。クリスマスの物語が、私たちに指し示している希望のしるしです。私たちの命を分かち合ってくださいる神様が、すべての^{ぬぐ}涙が拭われる時と場所を約束してくださっていることを覚えます。

みんな

神様、どうか私たちの沈んだ心を引き上げてください。道を見失っている時、どうか導いてください。日々の生活の中で、あなたから頂いている愛を見出せるようにしてください。そしてその愛を信頼できるように助けてください。それによって私たちもまた、隣の人を大切にすることができますように。すべての命を大切にされるイエス・キリストと共にあって祈ります。アーメン。

司式者

五つ目のろうそく、アドベント・クランツの中心にあるろうそくは、キリストのろうそくです。クリスマスの夜、社会の中からのけ者にされ、粗末な家畜小屋でお生まれになったイエス・キリストは、この暗い世界の中に^{とも}灯った小さな光でした。小さくても確かな光が、暗闇の中には^{とも}灯っています。

みんな

暗闇の中に輝いておられる神様。私たちは、この世界と私たち自身の中に、暗闇があることを知っています。クリスマスに家畜小屋の中でお生まれになったあなたは、社会の片隅^{かたすみ}を歩み、十字架へと追いやられつつ、光と慰め、平安と喜びを、この世界にもたらしてくださいました。私たちもまた^{おさなご}幼子イエス様の光によって、この心がすべて闇に閉ざされてしまわないように、私たちの中にも確かな光を^{とも}灯して下さい。そして私たちがこの世界で再び輝き、隣にいる人たちとこの小さな火を分かち合^{ともしび}い、灯火を増やして行くことができるようにしてください。アーメン

司式者

このクリスマスの季節に、私たちに必要なすべての良いものが与えられるように、神様に祈り求めましょう。多くの痛み、様々な喪失、大きな不安と向き合っている私たちに、神様どうか応えてください。私たちの家族や仲間が、互いに寄り添い、助け、支え続けてくれますように。先に天に召された私たちの大切な人たちが、また私たちの生活の中のあらゆる喪失が、すべて、あなたの復活の約束によって全きものへと完成されますように。遠い昔、クリスマスの夜、羊飼いたちに、御使いによって告げられたように、世界の隅々にまで、あなたからの平安がありますように。全てを創られた愛と恵みの神様、このクリスマスに痛みや苦しみ、悲しみの中にあるすべての人たちに、あなたからの力を豊かに注いでくださいますように。アーメン。

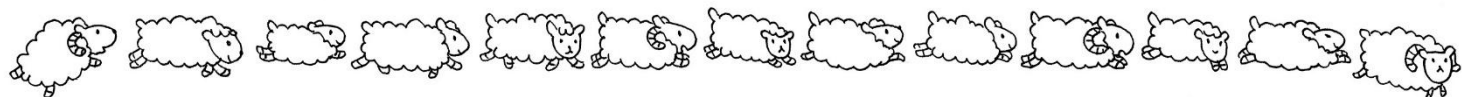
・《出典》2-5 頁：「クリスマスのリタジー」（以下を参照して改変）

Heather Hill 2012. “Blue Christmas Service: When Christmas Hurts”

(<https://youngclergywomen.org/blue-christmas-service-when-christmas-hurts/>)

中村佐知 2016. “（翻訳）ブルークリスマスのリタジー”「ミルトスの木かげで」

(<http://rhythmsofgrace.blog.jp/archives/14789699.html>)



聖書 創世記 1章 1-5節

¹初めに神は天と地を創造された。²地は^{こんとん}混沌として、闇が^{しんえん}深淵の^{おもて}面 あり、神の霊が水の^{おもて}面 を動いていた。³神は言われた。「光あれ。」すると光があった。⁴神は光を見て良しとされた。神は光と闇を分け、⁵光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。^c第一の日である。

(脚注 b: 別訳「形なく、空しく」、c: 直訳「一日」)

ヨハネによる福音書 1章 1-5, 9, 14, 18節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹初めに^{ことば}言があった。言は神^dと共にあった。言は神であった。²この言は、初めに神と共にあった。³⁻⁴万物は言によって成った。^e言によらずに成ったものは何一つなかった。^f言の内に成ったものは、命であった。この命は人の光であった。⁵光は闇の中で輝いている。闇は^g光に勝たなかった。

⁹まことの光があった。その光は世に来て、すべての人を照らすのである。

¹⁴言は肉となって、私たちの間に^h宿った。私たちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

¹⁸いまだかつて、神を見た者はいない。父の^{ふところ}懐 にいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

(脚注 d: 別訳「のもとに」、

e: 異本では「成ったもので言によらずに成ったものは」、

f: 別訳「成ったものは、言の内に
ある命であった」、

g: 直訳「光を捕えなかった」、
別訳「光を理解しなかった」

h: 直訳「^{まくや}幕屋を張った」)



《先週のメッセージより》2025年12月14日 第3アドヴェント礼拝

「おめでとう、恵まれた方」

牛田匡牧師

聖書 ルカによる福音書 1章 26-38、57-66節

今回のお話は、おとめマリアに天使によって妊娠が告げられる、「受胎告知」と呼ばれる場面でした。「マリアはヨセフと婚約していたが、一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが分かった」（マタイ 1:18）とも記されていますので、マリアは婚約中にヨセフ以外の子を妊娠してしまいました。性暴力は周囲から隠された見えない所で振るわれることが多く、また被害を受けた人も公にしないことも少なくありません。そもそも父権主義の古代ユダヤ社会では、女性の人権という考え自体がありませんでしたから、被害者であれ姦淫罪と見なされました。それでも女性は妊娠してしまうことがあります。そのような苦しい現実、苦悩してきた女性たちは、いつの時代でも、どこの地域にも、数え切られないくらいにおられるのではないかと思います。そして少女マリアもそのような女性の一人だったのではないのでしょうか。

ある日、マリアの所に見知らぬ人（天使）が来たので、マリアは驚きひどく戸惑いました。自分が性暴力を受けたことが公になったら、自分は姦淫罪で処刑されてしまうと恐れていたからでしょう。しかし、天使は「恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産む」（31）、「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを覆う」（35）と言いました。つまり、あなたは神の保護の中にある。別の言葉で言い換えれば、「あなたは決して汚れていない」ということです。そのような天使の言葉によって、マリアは自ら「お言葉どおり、この身になりますように」とその運命を受け入れていくように変えられていきました。希望が見出せないような真っ暗闇の中に、恐怖と不安でいっぱいになっている中に、神の使いはやってきます。ちっとも嬉しくない、決してありがたくない状況の中にこそ、「おめでとう。恵まれた方。神はあなたと共におられる」「いと高き方の力があなたを覆う」と告げてきます。だから、きっと大丈夫。「神様のみ心が、お言葉通りになりますように」と答えつつ、私たちもまた神によって遣わされている者（天使）として、隣にいる小さなマリアに「大丈夫ですか？ 私も一緒に行きますよ」と声をかけられるようでありたいと思います。闇を照らそうそくの火が、一本からもう一本へとその灯を分けていくように、神が共におられて、共に働かれていることを、私たちは確かに証していきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 12月14日 第3アドヴェント礼拝

教会での礼拝は休会でした。YouTubeでの聖書朗読とメッセージの配信のみ行いました。礼拝配信動画の視聴回数4回 感謝

◎次週 2025年12月28日(日) 歳末礼拝(降誕節第1主日礼拝)

招きの詞 イザヤ書 49章 12-13節

聖書 マタイによる福音書 2章 1-12節

メッセージ「旅人からのプレゼント」牛田匡牧師

賛美歌 54-410番 (©P.D.)「幼子主イエスに会い」(©JASRAC) こ改99番 (©出版局)

礼拝の中で、12月の誕生者祝福式を行います。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・本日のクリスマス礼拝の後に、愛餐会(昼食会)があります(無料)。(事前のお申し込みは不要です。食事の持ち寄りを歓迎いたします)
- ・愛餐会の後、14時から15時にかけて、教会学校キッズクリスマスを行います。久宝まぶねこども園の卒園児の子どもたちと一緒に、礼拝をしてお楽しみの時間を持ちます。
- ・12月の釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」は、休会です。釜ヶ崎・いこい食堂では毎年12月のクリスマスには、諸教会や諸団体、賛同者の方々から集められたお弁当を、お配りしています。今年も日本コイノニア福祉会の3施設(旭丘まぶね保育園、特別養護老人ホーム大阪好意の庭、特別養護老人ホーム第二好意の庭)から、65食のお弁当を作って、クリスマス当日の25日にお届けする予定です。
- ・今年も「クリスマス献金」を集めています。献金先は「関西学院大学神学部後援会」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人神戸国際支縁機構」「生活困窮者支援(釜ヶ崎への毎月のおにぎり支援基金、他)」「関西労働者伝道委員会」「アハリー・アラブ病院を支援する会」「ナルド献金(大阪教区・互助特別献金)」の7団体です。各団体の詳細や活動内容については、それぞれの団体のチラシや、ウェブサイトなどを、ご参照ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/28	牛田匡牧師	歳末礼拝・誕生者祝福式
2026/1/4	牛田匡牧師	新年礼拝・ユウカリスト教会を考える会
1/11	牛田匡牧師	おにぎり支援?
1/18	教会堂での礼拝は休会です (YouTube配信のみ行います)	

